

Medical Net News

Vol.52 (令和4年11月)

独立行政法人労働者健康安全機構
神戸労災病院

神戸労災病院 代表電話：078-231-5901
 地域医療推進室 直通電話：078-231-5925
 ファックス：078-231-5926
 ホームページ：<https://www.kobeh.johas.go.jp>

※ 病院屋上からの景観

外科部長拝命のご挨拶

神戸労災病院 外科部長 大村 典子



昇任ご挨拶



地域の先生方には、平素より大変お世話になりありがとうございます。本年4月1日付にて**外科部長**の任を拝命いたしました。ご挨拶が遅れまして大変恐縮ですが、気持ちも新たに地域の患者さん、先生方のお役に立てるよう微力ながら尽力していきたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

私は、2003年に神戸大学医学部を卒業後、臨床研修医として大阪府高槻市にて働き始め、以後、淡路島（洲本）、御津、姫路、明石等を転々としたのち、2017年に卒後15年目にして漸く生まれ故郷の神戸に戻り、神戸労災病院外科に赴任いたしました。**神戸労災病院での勤務も今年で6年目**となりました。この間、地域の先生方にはさまざまな機会を通じて大変お世話になり、心より感謝しております。

超高齢化社会でも安心・安全な医療の提供を



超高齢化社会を反映して、当院の患者さんの平均年齢も年々上昇の一途を辿っております。これに伴い、以前であれば**手術の対象外**とされていた超高齢の患者さんに対しても、手術を行う機会が増えています。当院は特に、**人工透析中の方や心血管系の併存症**を有する方など、重症症例、ハイリスク症例の割合が高いという特徴がありますが、こうした状況下においても術後の重篤な合併症の割合は低く、特に定期手術症例においては**ここ数年死亡率ゼロ**を維持しており、当科として**安心かつ安全な医療を提供**できていると自負しております。

女性患者さんも安心！様々な疾患に対応します！！



私個人としては、胃・大腸等の**悪性疾患**や鼠径ヘルニア、胆嚢結石症等の**良性疾患**、胆嚢炎、虫垂炎等の**救急疾患**等、広く担当しております。さらに、乳癌その他の**乳腺疾患**や、痔核、肛門周囲膿瘍、痔瘻、直腸脱等の**肛門病変**も担当しております。毎週火曜日、**当科唯一の女性医師**として外来を担当しておりますので、乳腺、肛門疾患、その他疾患も含め、**女性患者さん**も（もちろん男性患者さんも）**安心して診察**を受けていただけます。地域の先生方におかれましても、こうした患者さんがおられましたら、積極的にご紹介いただければ幸いです。今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Best Doctors in Japan 2022-2023受賞！！

この度ベストドクターズ社から、当院**総合内科 佐藤稔部長**、**整形外科 金谷貴子部長**の2名が、「**Best Doctors Japan 2022-2023**」に選出されました！！代表して、佐藤部長にコメントを頂きましたのでご紹介します。



この度、**Best Doctors in Japan 2022-2023**（ベストドクターズ社）に選出していただきました。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、膨大な数の医師に対して「もし、あなたやあなたの家族があなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、その中で治療能力、研究結果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、ある一定以上の評価を得た医師を名医と認定するものです。

大学病院在籍時に、基礎研究でいくつかの賞を受賞させていただいたことはあるのですが、この度、**腎臓病の实地診療**を評価して選出いただいたことは、大変名誉に感じております。神戸労災病院に赴任して3年目ですが、慢性腎臓病の治療、啓発活動を地道に続けた結果をご評価いただけたと考えております。基礎研究を基盤とした病態評価や最新の治療を、実際の臨床現場の患者さんに届けることを心情に腎臓病治療に取り組んでおります。今後も精進を続け、更なる技術向上を目指し、より良い医療を提供できるよう努めたいと考えております。

神戸労災病院の腎臓内科ですが、現在、**多職種連携の新たな取組**を行っております。

慢性腎臓病診療は原疾患の治療だけでなく、生活習慣の是正や食事療法など多岐にわたることから、医師のみで行うには限界があり、看護師、薬剤師、管理栄養士なども含めた**多職種連携（チーム医療）**で取り組むことが求められます。多職種連携の効果として、疾病の早期発見・回復促進・重症化予防など医療・生活の質の向上、医療の効率性の向上による医療従事者の負担の軽減、医療の標準化・組織化を通じた医療安全の向上が期待されています。当院ではCKDチーム医療として、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士などの多職種が連携し、**CKD教育入院、腎代療法選択外来、CKD教室**など、2022年4月より取り組んでいます。

CKD教育入院はCKDの**進行度別**に2パターン（いずれも3泊4日入院）準備しております。**腎代療法選択外来**はご家族の方と一緒に受診していただき、1人あたり60分かけて末期腎不全の治療方法についてお話をさせていただきます。

御希望する患者さん、該当する患者さんがいらっしゃいましたら、地域連携室経由で腎臓内科外来へご紹介ください。



肺がんCT検診（無料）のお知らせ

呼吸器外科部長 仲田 庄志
放射線科部長 橋本 知久

この度、AMED主催の臨床研究に参加し、新たに『肺がんCT検診』を始めましたのでご紹介します。神戸市および近隣の方々に趣旨をご理解いただければ、大いにメリットがあり、このような研究を通じて地域医療で貢献したいと考えています。詳しくは、当院ホームページ、『お知らせ2022年8月25日』をご覧ください。

肺がんは罹患数が3位、死亡数1位の疾患

肺がんは、**大腸がんや胃がんよりも罹患数は少ないものの、死亡数が多い疾患**です（右表参照）。これには2つ理由があり、1つは、大腸がんや胃がんは、消化器内視鏡治療（ポリペク、ESDなど）で、早期がんの状態で治療されることが多いということです。もう1つは、肺がん診断時のstageが、I期が4割弱、II期・III期が1割程度、IV期が5割程度と、一般的に手術適応とされるI期、II期の方が半数以下であり、**診断時既に病状が進行している方が多い**ということです。

悪性疾患の罹患数と死亡数（2018年）

	罹患数	死亡数
1位	大腸がん (15.2万)	肺がん (7.6万)
2位	胃がん (12.6万)	大腸がん (5.2万)
3位	肺がん (12.3万)	胃がん (4.2万)
4位	乳がん (9.5万)	膵がん (3.8万)
5位	前立腺がん (9.2万)	肝がん (2.5万)

神戸市の肺がん検診受検率は県内37位

現在、胸部X線検査と喀痰細胞診による肺がん検診は、肺がんによる死亡を減らす効果があることはわかっています。しかし、**神戸市の肺がん検診の受検率は、5.5%（県内41市区町村の内37位）**と低いものです（2020年データ）。

胸部CT検査は、X線でわかりにくい位置の腫瘍や、X線で見えないような小さな腫瘍も見え、肺腫瘍に対する検出率が上がります。しかし、本来治療の必要性がなかった腫瘍（小さな腫瘍や良性腫瘍）に対して治療する可能性（過剰医療）や、CT検診による被曝量の増加の問題も生じます。

低喫煙者には低線量CTでの有用性を検証

「医療被ばく研究ネットワーク」による日本の「診断参考レベル（DRLs2020）」では、胸部CTでのCTDI_{vol}は、**16mGy**とされています。画質を向上させるには線量を上げればよいのですが、被曝量が多くなります。今回の研究では、**標準的な体型**の方で、**2.5mGy以下の線量**で撮影します。これは事前に統一された精度管理を行っています。

2019年に報告された米国のNLSTは重喫煙者を対象とした研究ですが、胸部X線に対する低線量CTの有用性が示されました（**低線量CT群の肺がん死亡率がX線群と比較し20%低下**）。今回の研究は、**非喫煙者または軽喫煙者が対象**です。わが国では非喫煙者の肺がんも非常に多い特徴があり、それゆえ、今回の研究には、多くの専門家が注目しています。

ポイント

- ◎日本医療研究南登機構 (AMED) 主催研究
- ◎50~70歳、非喫煙または喫煙指数600以下の方
- ◎受検者の費用負担なし。
- ◎低線量CT群と胸部X線群の1:1振り分け
- ◎兵庫県で受けられるのは当院だけ
(2022年10月末時点)

お知らせ

● 医師人事異動のお知らせ

よろしくお願いします！！
(令和4年10月1日付採用)

- ・総合内科 堀 優里 (ほり ゆり)
- ・呼吸器内科 神宮 達也 (しんぐう たつや)
- ・呼吸器内科 瓜生 拓夢 (うりゅう たくむ)
- ・消化器内科 本田 真仁 (ほんだ まさひと)
- ・外科 小泉 宣 (こいずみ あきら)
- ・整形外科 太田 考紀 (おおた たかのり)

お世話になりました！！
(令和4年9月30日付退職)

- ・総合内科 廣田 功平
- ・呼吸器内科 石黒 豊
- ・呼吸器内科 村田 祐一
- ・消化器内科 西川 恵璃
- ・消化器内科 荒尾 悠介
- ・外科 藤澤 亮裕
- ・整形外科 大野 裕也

● 初診時選定療養費改定のお知らせ

初診の患者さんで、紹介状なしで病院を受診した場合、また、再診の患者さんで、他院への紹介を行ったにも拘わらず病院を受診した場合には、選定療養費を徴収することが定められています。その金額について、令和4年度の診療報酬改定の伴い、**10月1日から**以下のとおり変更します。



	令和4年9月30日まで	令和4年10月1日から
初診	5,000円 (税込)	7,700円 (税込)
再診	2,500円 (税込)	3,300円 (税込)

● 医療安全推進週間のお知らせ

11月20日(日)～11月26(土)は『**医療安全推進週間**』です。期間中、当院では以下のような活動をいたします。

- ・医療安全標語の職員公募と12作品の選出
毎年秀逸な作品が応募されます。
- ・医療安全ロッサ君バッジの装着
かわいいロッサ君が医療安全意識をサポート
- ・いいところを見つけよう医療安全パトロール
知らない事が発見できます！
- ・デジタルサイネージを使って医療安全啓蒙活動
お楽しみに！



啓蒙ポスター(厚労省)



医療安全標語(10月)



医療安全ロッサ君バッジ



お願い

ご予約の連絡をいただいた当日中に、診療情報(紹介状)と患者保険情報のコピーを地域医療推進室宛てにFAXしていただきますようご協力よろしくお願い致します。



神戸労災病院 地域医療推進室

TEL : 078-231-5925

FAX : 078-231-5926

開室時間 平日 8:15~19:00 土曜 8:30~12:30

(17時以降および土曜は診察・検査予約のみ)

▶ 診療情報提供書等ご送付いただく際は、封筒に「診療情報提供書在中」とご明記ください。